Hitachi Koki

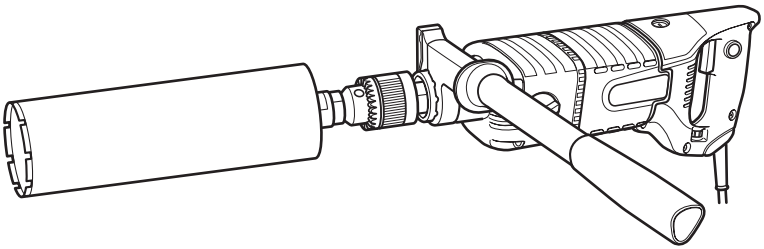
日立ダイヤモンドコアドリル

120mm DC 120VA 〔ダイヤモンドコアビットは別売〕

取扱説明書

このたびは日立ダイヤモンドコアドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁



HITACHI

――― 目　次 ―――

ページ

電動工具の安全上のご注意 ……2

ダイヤモンドコアドリルの使用上のご注意 ……5

各部の名称 ……6

仕　　様 ……7

標準付属品 ……7

別売部品 ……8

用　　途 ……10

作業前の準備 ……10

ご使用前に ……11

使　い　方 ……13

保守・点検 ……21

ご修理のときは ……22

全国営業拠点 ……裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「**注**」の意味も説明します。

⚠警告：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

⧈ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には“⧈”マークを表示しています。
二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり、間違って組み立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにご用命ください。

ダイヤモンドコアドリルの使用上のご注意

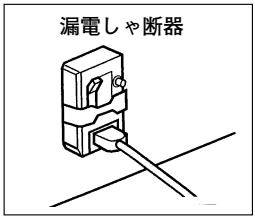
先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ダイヤモンドコアドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

② 湿式用で穴あけする場合、とくに感電に注意してください。
- 漏電しゃ断器を設置して使用してください。
- 作業中は、必ずゴム手袋・ゴム長ぐつを着用してください。なお、破れたり、穴のあいたゴム手袋・ゴム長ぐつは、直ちに新品と交換してください。

②



③ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

②

④ 湿式用で穴あけする場合、上向きの穴あけはしないでください。
本機は水を使用するため、上向きの穴あけは、水がモーター内部に入り、感電の恐れがあります。

⑤ 使用中は、振り回されないよう両手で本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。

⑥ 湿式用で穴あけする場合、必ず注水してください。
注水しないで使用すると、ダイヤモンドコアビットの刃先が破損し、けがの原因になります。

⑦ 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

⑧ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑨ 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注　意

① 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。

材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

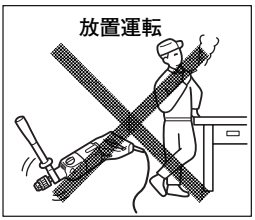
③ 床に穴をあける場合は、階下の人や物に注意してください。

貫通時に切削コアが先端工具のコア内から抜け落ち、けがの原因になります。また、切削水もかかります。

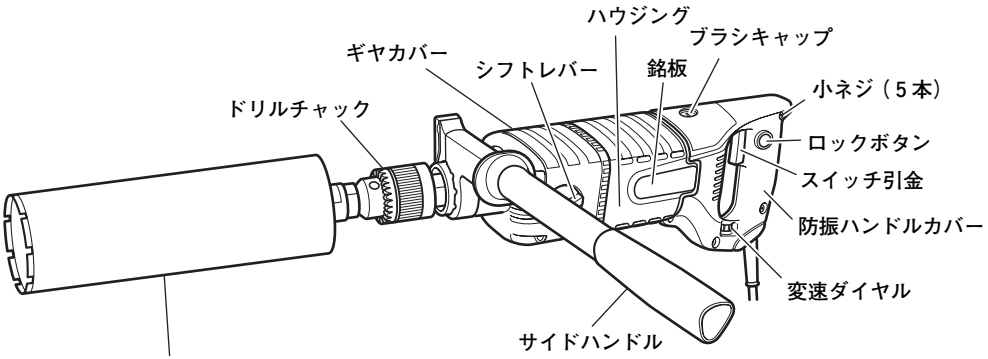
④ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

④



各部の名称



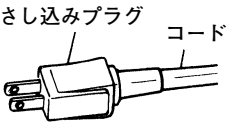


図　1

仕　　様

使 用 電 源　単相交流 50／60 Hz 共用　　電圧 100 V
穴 あ け 能 力　ダイヤモンドコアビット

湿式用
- コア径：27 mm（1″）～ 120 mm（4 －3/4″）
- 穴あけ深さ：給水タンク使用時　180 mm
- スイベルアダプタ使用時　250 mm
- 中間ロッド使用時　280 mm

乾式用
- コア径：27 mm（1″）～ 120 mm（4 －3/4″）
- 穴あけ深さ：170 mm

ＡＬＣ用ホールソー
- 最大径：160 mm
- 穴あけ深さ：最大 125 mm

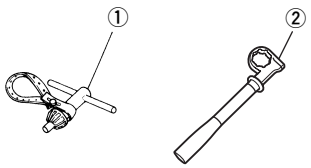
メタル用ホールソー
- 最大径：60 mm
- 穴あけ深さ：25 mm

木工用ホールソー
- 最大径：120 mm
- 穴あけ深さ：150 mm

鉄 工 錐　　最大径：13 mm
木 工 錐　　最大径：30 mm

全 負 荷 電 流　12 A
消 費 電 力　1140 W
無負荷回転数　低速（1）400 ～ 1000 min^{-1} {400 ～ 1000 回／分}
　　高速（2）800 ～ 2000 min^{-1} {800 ～ 2000 回／分}
モ ー タ ー　単相直巻整流子モーター
質　　量　4.0kg（コードを除く）
コ ー ド　2 心キャブタイヤケーブル　2.5m

標準付属品

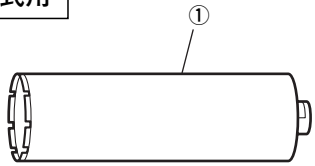


① チャックハンドル……1 個
② サイドハンドル……1 個

図　2

別売部品 ……（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

湿式用

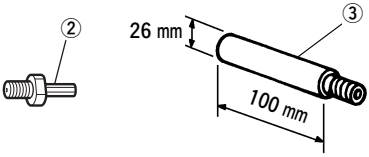


① 湿式ダイヤモンドコアビット：9種類
（アダプタ、給水タンク付）

コア径　単位：㎜〔（　）内はインチ〕

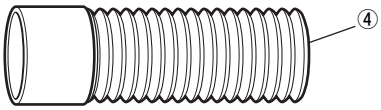
27 （1）	32（1-1/4）	38（1-1/2）
54 （2）	65（2-1/2）	80 （3）
90（3-1/2）	105 （4）	120（4-3/4）

注）27㎜と32㎜のダイヤモンドコアビットには給水タンクがありません。
⑤スイベルアダプタとの組み合わせにより注水し、ご使用ください。

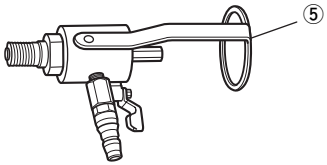


② アダプタ

③ 中間ロッド
深穴あけに使用するもので、②アダプタや⑤スイベルアダプタとダイヤモンドコアビットの間に取付ける延長棒です。

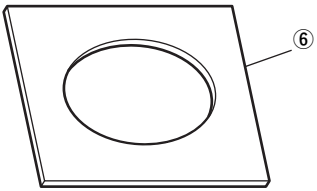


④ 給水タンク‥‥27㎜と32㎜を除く各コア径サイズ有

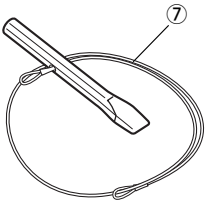


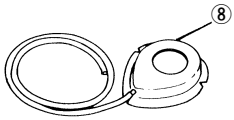
⑤ スイベルアダプタ

⑥ 心出しシート‥‥各コア径サイズ有



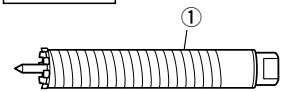
⑦ コア抜きワイヤ





⑧ 水処理パッド：穴あけ時の汚水飛散防止用

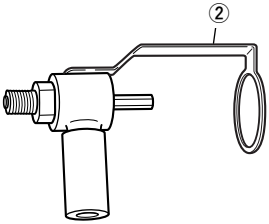
乾式用



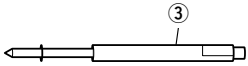
① 乾式ダイヤモンドコアビット： 10 種類

コア径　単位：㎜〔（　）内はインチ〕

27（1）	32（1-¼）	38（1-½）	54　（2）
65（2-½）	80　（3）	90（3-½）	100　（4）
110（4-½）	120（4-¾）	―	―



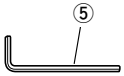
② 集じんアダプタ組



③ センターピン

④ ガイドプレート

各コア径のものがあります。

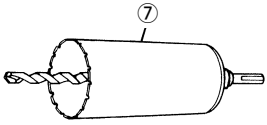


⑤ 六角棒スパナ

対辺巾 3 ㎜

⑥ アダプタ

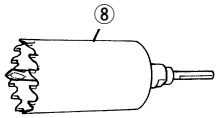
集じん機に接続するときに使用します。



⑦ ＡＬＣ用ホールソー：９種類

ホールソー径　　単位 ㎜

65	75	80	90	100
110	120	150	160	―



⑧ モルタル用ホールソー： 15 種類

ホールソー径　　単位 ㎜

25	29	32	35	40
45	50	55	60	65
70	75	80	90	100

湿式用・乾式用

○ 保護メガネ‥‥‥ 1 個

用　　途

○ 冷暖房、電気、電話、水道、ガスなどの配管、配線分野における鉄筋コンクリート、およびALC板、モルタル、鉄板、木材の穴あけ
○ 鉄工錐、木工錐を使用して各種金属、木材および樹脂材料などの穴あけ

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認……

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置が設置されているか、確認してください。

2．継ぎ(延長)コード……

⚠ 警　告
• **継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm²	10 m
2 mm²	15 m
3.5 mm²	30 m

左の表は、使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

3．作業環境の整備・確認……

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～5項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源やエンジン発電機で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2．漏電しゃ断器を設置する……

必ず漏電しゃ断器を設置してください。

3．サイドハンドルを取付ける……

⚠ 警　告

- **サイドハンドルは、以下の要領で本体へ確実に取付けてください。**
  取付けが不確実・不十分であるとモーターがロック(拘束)されたときなどにサイドハンドルで反力を受けきれず、けがの原因になります。

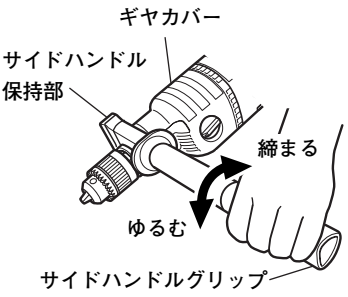


図　3

(1) サイドハンドルグリップをゆるめ、サイドハンドル保持部をひろげます。

(2) サイドハンドル保持部をギヤカバー先端部にはめ込みます。

(3) サイドハンドル保持部の内径に設けられた凹部溝が、ギヤカバー先端の突起に確実にはまるよう位置決めし、サイドハンドルグリップを十分に締付けます。

サイドハンドルグリップをゆるめ、ギヤカバー先端の突起にはめる前の状態では、サイドハンドル保持部は回転可能です。

作業に合った角度にセットできます。

4．湿式ダイヤモンドコアビット、ＡＬＣ用またはモルタル用ホールソー、錐を取付ける……

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

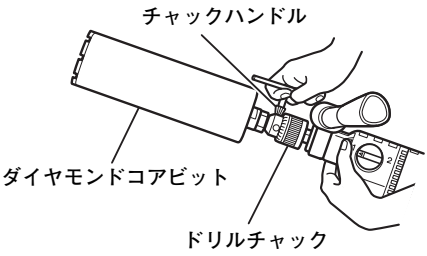


図　4

ドリルチャックの３本のつめを引っ込ませ、ダイヤモンドコアビット、ALC用またはモルタル用ホールソーや錐の柄がチャックの穴の奥に必ず当たるように入れ、チャックハンドルで確実に締めてください。

チャックハンドルを入れる穴は３ヵ所あります。１ヵ所できつく締めず３ヵ所を順次均等に締めてください。

取りはずしは、上記と逆手順に行なってください。

5．乾式ダイヤモンドコアビットを取付ける……

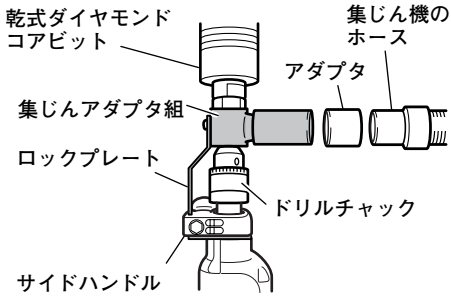


図　5

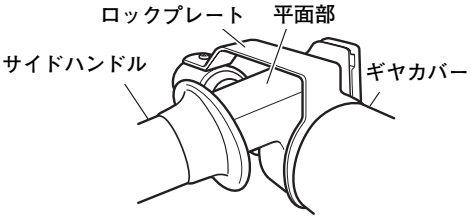


図　6

(1) サイドハンドルを本機からはずし、ギヤカバーのサイドハンドル取付部にロックプレートを挿入してください。

(2) 図６のようにロックプレートをサイドハンドル平面部に合わせ、サイドハンドルを取付け（11ページの「ご使用前に」の３項参照）してください。

(3) ドリルチャックに集じんアダプタ組（別売部品）を取付けてください。

(4) 集じんアダプタ組に乾式ダイヤモンドコアビットをねじ込んでください。

(5) 集じん機（別売品）のホースにアダプタを接続後、集じんアダプタ組に取付けてください。

集じん機は、日立電動工具用集じん機「ＲＰ 30ＳＡ」「ＲＰ 30ＳＢ」をお使いください。

6．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

7．携帯電話について……

呼び出し時および通話中の携帯電話で、回転が不安定になることがあります。

使　い　方

1．〝高速〞2と〝低速〞1の切替え……

切替えは、必ずスイッチを切り、回転が停止してから行なってください。

シフトレバー切替表示**1側**へ回せば〝低速〞、**2側**へ回せば〝高速〞となります。

切替えがうまくいかない場合には

切替えがうまくいかない場合には、ドリルチャックを少し回すとスムーズに行なうことができます。

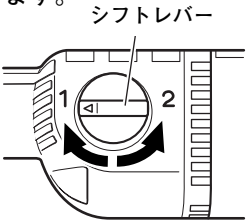


図　7

2．スイッチの操作……

スイッチはスイッチ引金（図1参照）を引くと電源が入ります。

切るときは引金を戻してください。

3．回転数の調整……

⑴ 本機は錐の回転数を無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。変速ダイヤルの調整により、穴あけ材料、作業条件に合った回転数でご使用ください。

変速ダイヤルの、目盛り〝A〞が最低速で、目盛り〝E〞が最高速です。（図8）

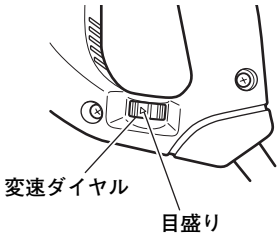


図　8

⑵ 穴あけ材料と適正回転数の関係

穴あけ材料と適正回転数の関係は、作業条件、電源事情などによって多少異なります。

次ページの表を目安にご使用ください。

被削材	ドリル種類	ドリル径〔mm〕	シフトレバー表示 / 変速ダイヤル	1〔低速ギヤ〕					2〔高速ギヤ〕				
				A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
コンクリート	ダイヤモンドコアビット	27											
		65											
		120											
ＡＬＣ 厚さ 120 mm	ＡＬＣ用ホールソー	27											
		65											
		160											
鉄鋼 SPCC 厚さ 3 mm	メタル用ホールソー	15											
		60											
ステンレス 厚さ 1.6 mm	メタル用ホールソー	15											
		60											
木材 (米ツガ) 厚さ 50 mm	木工用ホールソー	27											
		65											
		120											
鉄鋼 SPCC 厚さ 3 mm	鉄工錐	13											
木材 厚さ 50mm	木工錐	30											

どの穴あけ作業の場合にもセンタもみ（穴あけ位置決め）をするときは、いったんダイヤルを回して低速にしますと作業はしやすくなります。

注

- **表の目安（適正回転数）を越えたり、長い時間の連続作業あるいは軟質材などの穴あけ作業をしますと、モーターに無理がかかり、焼損の原因になります。**
  とくに穴あけ中、先端工具が停止するような無理な使い方は避け、常に滑らかに穴あけできるように回転数を調整してください。
- **最大能力以上の先端工具を使用すると、本機の寿命を著しく短くしますので絶対に使用しないでください。**

4．ダイヤモンドコアドリルを押す力は……

必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって先端工具をいためて作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命も短くなります。

5．突き抜け穴をあける場合は……

穴の抜けぎわに錐を折ることがあります。穴の抜けぎわに押す力をゆるめることが大切です。

6．湿式ダイヤモンドコアビットでの鉄筋コンクリートの穴あけ手順…

(1) ダイヤモンドコアビットへ給水タンクを入れる

⚠ 警　告

- **製品本体に水がかからないようにしてください。モーター内部に水が入ると、感電の恐れがあります。**

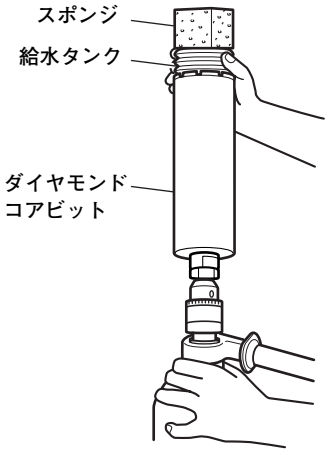


図　9

(イ) 給水タンクについているスポンジをゆっくりと引きはがします。スポンジを引きはがす際は給水タンク内に組み込まれているプレートを押さえながら行なってください。

(ロ) 給水タンク内にほぼ満杯になるように水を入れます。

(ハ) スポンジを水にひたした後、十分しぼり、給水タンクに付けます。

(ニ) 給水タンクをダイヤモンドコアビット内にゆっくりと入れます。

注

- **27 mm と 32 mm のダイヤモンドコアビットには給水タンクがありません。別売部品のスイベルアダプタ(8、18 ページ参照)により注水し、使用してください。**
- **給水時にスポンジを強く引っ張ると、給水タンク内に組み込まれているプレートがはずれる場合があります。もし、はずれた場合は下記の要領で組み込んでください。**

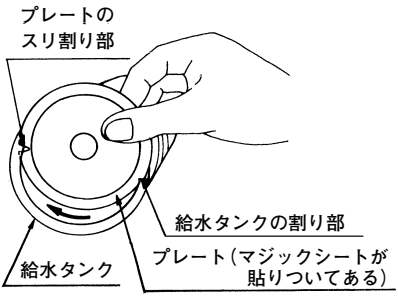


図　10

図10のようにプレートのスリ割り部を給水タンクの割り部に対して180°ずれた位置に合わせ、プレートの半分をさし込みます。

次にプレートを矢印方向に回転させ、給水タンクにプレートの全周を組み込みます。

(2) 穴あけ位置を決める

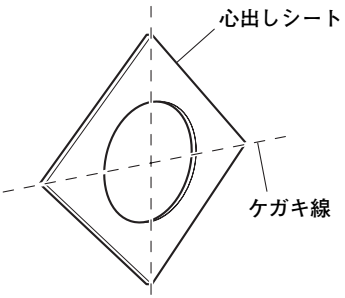


図　11

(イ) 穴あけ箇所の水分、汚れなどをよくふき取った後、心出しシートを貼りつけます。貼りつけ面の凸凹が大きいときは、粘着テープ(ガムテープなど)をあわせて使用しますと効果的です。なお、図11のように、あらかじめケガキ線を引いておき、心出しシートの4つ角をケガキ線に合わせると正確な心出しができます。

図　12

(ロ) 本体がコンクリート面に対し、真っすぐになるようにダイヤモンドコアビットを押し当てます。3～5㎜の深さに切削したら、スイッチを切り、ダイヤモンドコアビットを抜きます。

図　13

(ハ) 心出しシートをコンクリート面からはがし、案内溝ができていることを確かめます。

(3) 穴あけ作業

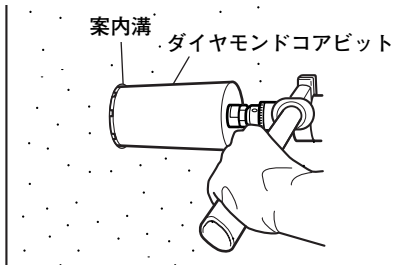


図　14

(イ) 案内溝にダイヤモンドコアビットを当てがい、スイッチを入れて一定の推力で穴あけします。

(ロ) 穴あけ途中で鉄筋、異物に当たったときは推力を弱めてください。そのまま押しますと、スリップクラッチが作動し、ダイヤモンドコアビットが回転しなくなります。また、ダイヤモンドコアビットの寿命を著しく低下させます。

スリップクラッチについて　本機は、スリップクラッチ付きですので、ダイヤモンドコアビットまたは錐に所定のトルクがかかると、スリップクラッチが作動し、ダイヤモンドコアビットまたは錐にモーターの回転が伝わらない構造になっております。

注
- **スリップクラッチが作動したときは、すぐに本体を引いてください（作動時間を 2 秒以内にする）。**
  また、スリップクラッチを頻繁に作動させないでください。

(ハ) 鉄筋の切り終り際には、さらに力を弱めてください。そのまま押しますと、鉄筋にカエリが出て、そのカエリにより、ダイヤモンドコアビットが抜けなくなる場合があります。

(ニ) 穴あけ終了後は、スイッチを切り、ダイヤモンドコアビットを穴から抜いてください。抜いた後、ダイヤモンドコアビット内部を点検し、抜きかすが残っている場合は、取り除いてから次の穴あけを行なってください。

⚠ 注　意

- **穴あけ完了時は、切削コアの飛び出しに注意してください。**
  特に高所作業のときは、切削コアの落下に十分注意してください。

注
- **ダイヤモンドコアビットは必ず注水してご使用ください。**
  注水しないで使用しますと、刃先が破損したり、ダイヤモンドコアビットの寿命が低下します。
- **穴あけ作業は必ず水が出ていることを確認しながら行なってください。水の出方が少なくなったときは本体を少し引き戻し（20 ～ 30 ㎜）、再度押すと水の出方が良くなります。この操作を行なっても水の出方が少ないときは、スイッチを切ってダイヤモンドコアビットを抜き、水を補給してください。**

(4) 給水タンク使用上の注意

本機の最大穴あけ深さは 180 ㎜ です。180 ㎜ 以上穴あけしますと、給水タンクが早期に破損しますので絶対に行なわないでください。

別売部品の中間ロッドを使用して 180 ㎜ 以上の穴あけする際は、切削コアを取り除いて使用してください。

(5) 貫通穴あけでない場合

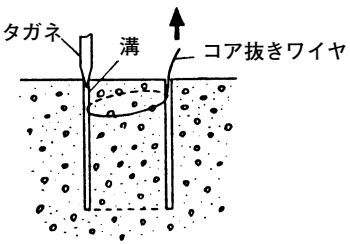


図　15

止まり穴をあけた場合の切削コアの抜き取り方法は次のように行ないます。

(イ) 図 15 のようにタガネを打ち込み切削コアの底部を切り離します。

(ロ) 図 15 のようにワイヤを切削コアにかけて抜きます。

別売部品にタガネとコア抜きワイヤのセットが用意してあります。

(6) 穴あけ作業後は

穴あけ作業後は、本体に付いている水滴を乾いた布でよくふき取ってください。ダイヤモンドコアビットおよび給水タンクは良く水洗いし、水分をふき取り、乾燥した場所に保管してください。

注 **• スポンジを完全に乾燥させないでダイヤモンドコアビット内に入れたままにしておきますと、ダイヤモンドコアビットがさびてしまい、スポンジが取れなくなります。またスポンジが早期に破損しやすくなりますので十分注意してください。万一、取れなくなりましたら、スポンジに水を十分にひたした後、静かにスポンジを引き上げれば取り出すことができます。**

(7) ダイヤモンドコアビットについて

ダイヤモンドコアビットは被削材の種類、状態によって性能および寿命が変化しますのでご注意ください。

① 石材などの硬い材料に穴あけしますと、切れ味が低下することがあります。
切れ味が低下した際は、コンクリートブロックや使用済みの砥石などに穴あけし、ダイヤモンドチップのドレッシング(目出し)をしてください。

② コンクリートブロックや打ち込み日数の浅いコンクリートなどに穴あけしたときは、ダイヤモンドチップの摩耗が早く、寿命が著しく短くなります。

3．スイベルアダプタ(8ページの別売部品の⑤参照)の使い方……

本機は給水タンク以外にも、スイベルアダプタを使用して注水することができます。給水タンクと違い、常時ダイヤモンドコアビットに水を供給できるのでさらに能率の良い穴あけ作業ができます。

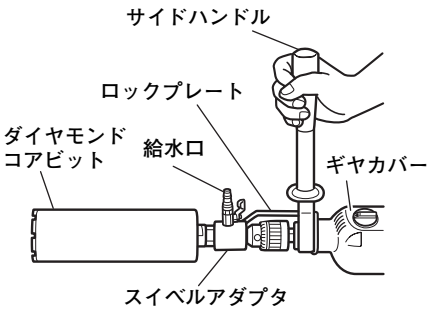


図　16

(1) 乾式ダイヤモンドコアビットに使用する集じんアダプタ組の接続方法と同じようにスイベルアダプタを取付けてください。〔12ページの「ご使用前に」の5項 (1) ～ (4) 参照〕

(2) ダイヤモンドコアビットにネジ込まれているアダプタをはずし、ダイヤモンドコアビットにスイベルアダプタをネジ込んでください。

(3) 給水には水道からひいたホース(内径15㎜)をつないでください。

(4) 注水量の目安としてホースより出た水が鉛筆大の太さ(8～10㎜)に流れる程度にしてください。

4．水処理パッド（8ページの別売部品の⑧参照）の使い方……

本機にダイヤモンドコアビットを取り付けてコンクリート、タイルなどの穴あけ作業を行なう際、汚れた水の飛散を防止するために使用します。

(1) 穴あけ箇所をきれいにする

穴あけする箇所の周囲の水分、汚れ、コンクリート粉などをよくふき取ります。

(2) 穴あけ位置に芯出しシートと水処理パッドを貼り付ける

① 穴あけ位置に引いたケガキ線に合わせ、芯出しシート（別売部品）を貼り付けます。

② 水処理パッドの外周にある溝をケガキ線に合わせて位置決めし、リップが壁面に密着するように、粘着テープ（ガムテープ等）で固定します。

注 **• 穴あけ途中で水を補給し、再度穴あけする際は、ダイヤモンドコアビットをゆっくり挿入してください。勢いよく挿入すると、給水タンク内の水が内周部から外にこぼれる場合があります。**

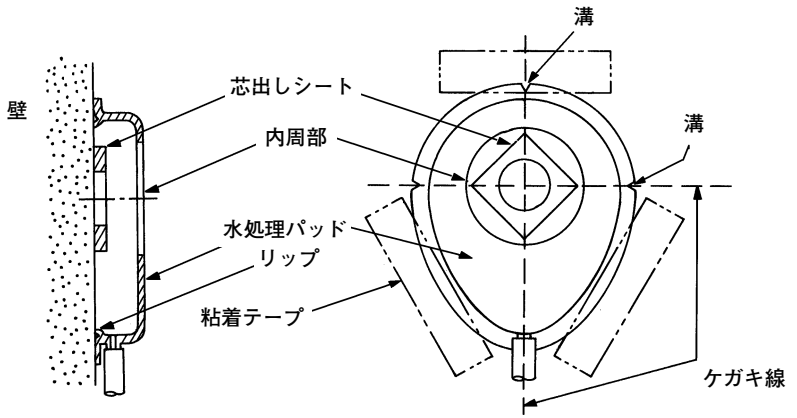


図　17

5．乾式ダイヤモンドコアビットの使い方……

(1) ダイヤモンドコアビットにセンターピンを入れる

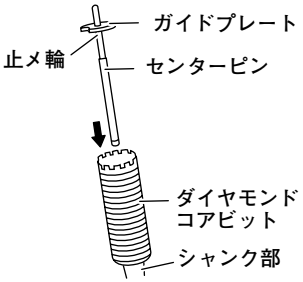


図　18

(イ) ガイドプレート(別売部品)をセンターピン(別売部品)の止メ輪位置まで入れてください。

(ロ) センターピンをダイヤモンドコアビットのシャンク部の内側に挿入します。

(2) 穴あけ作業

(イ) 本体がコンクリート面に対し、真っすぐになるようにダイヤモンドコアビットを押し当てます。3～5㎜の深さに切削し案内溝ができたら、スイッチを切り、ダイヤモンドコアビットを抜きます。

(ロ) センタービンを抜き、案内溝にダイヤモンドコアビットを当てがい、スイッチを入れて一定の推力で穴あけします。
穴あけ途中で鉄筋、異物に当たったときは、推力を弱めてください。

(ハ) 穴あけ終了後は、ダイヤモンドコアビットを回転させたまま引き抜いてください。

(ニ) 鉄筋のかみこみ等で、どうしても切削片が刃先側から取り出すことが出来ない場合は、下記の要領で切削片を取り出してください。

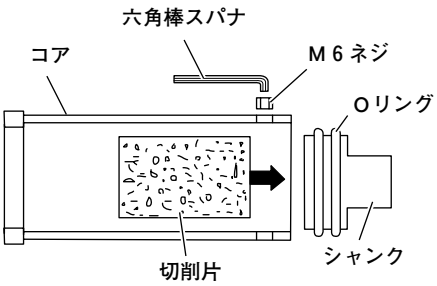


図　19

- 六角棒スパナ(別売部品)でM6ネジを取りはずし、シャンク部を回しながら抜いてください。
  切削片は矢印方向(シャンク側)に取りはずしてください。
- 再使用の際は、コアとシャンクの刻印を合せて、M6ネジを十分に締め付けてください。

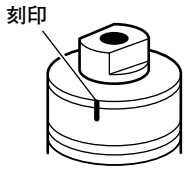


図　20

保守・点検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．ダイヤモンドコアビットの点検 ……

摩耗したダイヤモンドコアビットをご使用になっておりますと切れ味が悪くなりモーターに無理をかけることになります。また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2．各部取付けネジの点検 ……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検 ……

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（6㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

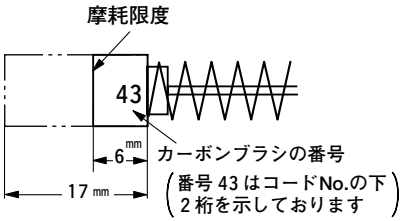


図　21

また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は、必ず図示の番号（43）の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法　カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図１参照）をはずしますと取り出せます。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングのスイッチ側風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．表面の汚れの清掃……

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は、かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6．ゴム手袋・ゴム長ぐつの点検……

ゴム手袋およびゴム長ぐつの破損はないかどうかよく点検しておいてください。破れたものはお使いになれませんので新品と交換してください。

7．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
○軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
○温度が急変する場所
○直射日光の当たる場所
○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

日立工機株式会社

506
部品コード　C99101701　N